

2022年1月発行

梶原正憲

☎ 44-4719

📞 090-5389-9936

議会だより



学問の神様（菅原道真公を祀る）鹿屋市荒平神社より 皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

今年の干支「みずのえ寅」

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい令和4年の新春をご家族お揃いでお迎えになられたことをお慶び申し上げますとともに、旧年中は私の議会・議員活動についても温かいご指導・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

昨年は、「東京2020オリンピック、パラリンピック」での選手の活躍に「夢や感動」を与えてもらいますとともに、新型コロナウイルス感染症の対応に苦慮した1年でもありました。

鹿屋市においても新型コロナウイルス感染症防止対策について、医療・行政関係者などの多大なるご尽力により、ワクチンの2回目接種は8割を超えて、ここ2か月近く感染者が派生していないことに対して、改めて「敬意と感謝」を表するとともに早い収束を期待しております。

首都圏においては、新型コロナウイルスの新たな変異株「オミクロン株」の市中感染が確認されておりますことからお互いが出来る感染予防策として手洗い・消毒の励行やマスクの着用、密集・密閉・密接の「3密」を避ける自衛策を引き続き講じて参りましょう。

また、広域交通の一環として東九州自動車道の鹿屋串良ジャンクションから志布志インターチェンジまでの開通に福岡直行高速バス「ハートライナー」の運行開始がなされ、人・物の交流が高まることと思っております。

今年の干支「^{みずのえとら}壬寅」は、「^{はら}陽気を孕み、春の胎動を助く」冬の厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるといわれています。

厳しい寒さが続いておりますが、これからの春の芽吹きと共に輝かしい1年となることを願いながら健康に留意し、皆様ともども精進して参ります。

さて、鹿屋市議会12月議会は、11月26日から12月16日までの21日間開催されました。

今議会に上程された議案は、鹿屋市一般会計補正予算第9号・第10号、鹿屋市国民健康保険条例の一部改正及び指定管理者の指定など議案10件、報告3件、陳情4件、意見書1件を慎重審議しました。

その結果、閉会中に審査された令和2年度一般会計及び特別会計決算の議案6件は「認定」、上程された議案はすべて「原案可決」となり、陳情4件のうち大園橋保存に係わる陳情は「継続審査」他の3件は「不採択」、そして意見書は「原案可決」となりました。

一般質問には、18名の同僚議員が登壇し、各分野における当局の見解を質しました。私も、市民生活に欠かすことのできない都市計画道路や脱炭素社会実現に向けた取組とデジタル化の推進、市民相談における墓地管理について3点質問しました。（次頁参照）



令和3年度鹿屋市一般会計補正予算(第9・10号)の概要

新型コロナウイルス感染症対策としてワクチン追加接種事業、臨時特別給付金など経費を追加計上するほか、事業進捗上、早急に実施する必要のある事業を計上されています。

(1) 補正予算9・10号・・・事業費 26億5,260万3千円

(主な事務事業)

①新型コロナウイルスワクチン追加接種事業・・・事業費 4億1,185万5千円

(ワクチンの3回目の追加接種・2回目接種後概ね8か月以上経過した方・R3,11月個別接種、R4,2月2月集団接種)

②ふるさとPR促進事業・・・事業費 3億9,927万2千円

(返礼に要する経費を計上し、本市の認知度向上と地域の産業振興を図る)
(PR動画のWEB配信・返礼品の見直し)

③ふるさと鹿屋応援基金積立・・・事業費 8億円

(ふるさと納税による寄付金の積立、年間見込み額30億円)

④サツマイモ基腐病対策バイオ苗購入支援事業・・・事業費 384万7千円

(令和4年産におけるバイオ苗の購入支援・補助率四分の一以内)

⑤寿西部第2雨水幹線分流排水路整備事業・・・事業費 3千230万円

(新川地区の道路冠水や住宅等への浸水対策として寿台地からの雨水を分流する排水路の新設、工事期間R4年1月～8月下旬、総事業費8,030万円)



⑥子育て世帯への臨時特別給付金事業・・・事業費 9億6,500万円

(国の経済対策として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯に対して子ども1人当たり一律5万円支給)
(尚、専決処分として子ども1人当たり一律5万円、合わせて子ども1人当たり一律10万円、R3年12月24日に給付)

令和3年12月定例会 議案及び結果

議案等名	概要	原案可決	議案等名	概要	原案可決
一般住宅に係る家賃等の請求及び明渡しの請求に関する訴えの提起についての専決処分の承認について	一般住宅に係る家賃等の請求及び明渡しの請求に関する訴えの提起	可決	鹿屋市農業研修センター条例の一部改正について	鹿屋市下小原農業研修センターの機能を廃止	原案可決
鹿屋市国民健康保険条例の一部改正について	出産育児一時金の見直しに伴い、所要の既定の整理	原案可決	かのやグラウンド・ゴルフ場等の指定管理者の指定について	指定管理者を指定 倉岡建設 5年間 債務負担額 5,000万円	原案可決
鹿屋市手数料条例の一部改正について	長期優良住宅認定に係る手数料を新設	原案可決	小動物園(鹿屋中央公園内)の指定管理者の指定について	指定管理者を指定 鹿屋市シルバー人材センター 5年間 債務負担額 3,945万円	原案可決
鹿屋市一般住宅条例の一部改正について	現入居者に譲渡するため、平南高揚団地2戸を用途廃止	原案可決	鹿屋市輝北ふれあいセンターの指定管理者の指定について	指定管理者を指定 鹿屋市社会福祉協議会 3年間 債務負担額 6,654万円	原案可決

令和3年12月議会一般質問項目



(1) 道路行政について

都市計画道路は、人や物の円滑な移動を確保する役割のほか、防災や環境・景観面での良好な都市空間の形成、上下水道、電気、ガスなどの収容空間としての役割や、土地利用の誘導など様々な役割があり、都市基盤の中でも最も基本となる根幹施設と言われており、本市においても市民生活に欠くことのできない都市計画道路があり、寿大通り線や田崎寿線は一部完了しているが、文化線と札元打馬線は、未だに取組がなされていないことから早期完成への期待と、持続可能なまちづくりに向けた居住区間や医療、福祉、商業、公共交通の様々な都市機能を誘導するためにも、立地適正化計画の積極的な取り組みなどの観点から次の質問をしました。

- ①本市の都市計画道路は何路線あるか、また、完了及び未完了の内訳を示されたい。
- ②鹿屋地区における未完了の都市計画道路と今後の取組を示されたい。
- ③多極ネットワーク型コンパクトシティを目指すための計画である立地適正化計画を策定中であるが、今後の生活道路整備や維持管理の考え方を示されたい。
- ④鹿屋環状線、西祓川地区拡幅工事及び県道、田淵田崎線・鹿屋高山串良線の交差点改良工事の進捗状況を示されたい。



所感

幹線道路など31路線を都市計画決定し、寿大通線、文化線、札元打馬線、田崎寿線、吾平山陵公園線、吾平中央通線が未完了となっており、早期完成が望まれる。また、持続可能なまちづくりを推進していくためにも、安全性や利便性、地域性を考慮した良好な住環境、道路環境の整備が望まれる。さらに、県道鹿屋環状線、田淵田崎線・鹿屋高山串良線については設計・用地交渉・建物調査などを行っているがスピード感を持って事業推進を図ってほしい。

(2) 墓地管理について

本市における埋葬は、市営墓地・共同墓地・寺院の納骨堂等がありますが少子化・過疎化・核家族化が進み、家族観の変化や後継者不在などの社会問題に加え、市民意識が多様化する中で、墓を守る人がいないこと、金銭的な負担が大きいことなどから「墓所」の管理などが大きな課題になっている観点から次の質問をしました。

- ①本市の市営墓地（5カ所）の現状について、総区画数、年間の指定管理料、維持補修費と主な維持補修内容を示されたい。
- ②各市営墓地の近年の返還件数、空き区画数、無縁墓の推移を示されたい。
- ③空き区画及び無縁墓が発生する要因をどのように考えているか。
また、空き区画を減少または無縁墓を増加させないために、どのような対策に取り組んでいるか
- ④墓地条例第14条の使用許可を受けてから5年間使用しなかった時の対応は、どのようにしているか。
- ⑤合葬墓の新設は考えられないか。
- ⑥今後、墓地の在り方はどのように変化すると考えるか。また墓地の環境整備計画を示されたい。



所感

墓は、遺骨を収蔵するだけではなく、先祖を祀り、感謝の想いを伝える場所でもあり、故人とつながる唯一の場所でもあります。地域を愛した市民が生きた「証」が残る大切な場所として、環境整備はもとより市民ニーズに答えられるような墓地に管理してほしい。

(3) 水道行政について

本市の水道事業は、人口減少等に伴う料金収入の減少、施設の老朽化に伴う更新需要の増大、大量退職等に伴う職員数の減少などの深刻な課題を抱えており、将来にわたって市民に安心・安全な水サービスを安定的に提供し、事業運営を持続可能にしていく観点から次の質問をしました。

- ①鹿屋市水道ビジョンでは、環境対策への取り組みが挙げられ、クリーンエネルギーや省エネルギー機器について積極的に導入を図る必要があると分析され、施策目標には、「環境への貢献」を掲げていることから、現在のクリーンエネルギーや省エネルギー設備・機器等の導入状況を示されたい。
- ②国は、脱炭素社会実現に向けた取り組みを促進するため、水道事業分野では、どのような政策を示しているか。

また、本市の水道事業における脱炭素社会実現に向けた計画を示されたい。

③本市では、水道スマートメーター導入について、どのように考えているか。

所感

水道スマートメーターは、通信機器を備えたメーターであり、利活用により、検針の自動化による省力化、漏水箇所の早期発見、管口径の最適化などのメリットがあることから他自治体の状況や実証試験などの情報収集を行いながら導入に向けた検討をしてほしい。

※紙面の都合上、全文は掲載しておりません。詳しくはホームページをご覧ください！



令和2年度一般会計歳入歳出の状況

歳入

依存財源 492億2,452万9,545円

地方交付税 127億5,862万5,000円

国庫支出金 228億1,458万4,631円

市 債 43億1,215万円

県支出金 58億2,357万2,519円

その他 35億1,559万7,395円

自主財源 231億2,868万5,175円

市 税 112億1,843万224円

繰入金 47億54万1,041円

繰越金 27億6,554万4,366円

その他 44億4,416万9,544円

審査に当たっては、

- (1) 予算執行が議会の議決の趣旨・目的に従って、合理的・能率的かつ効果的に執行されているか。
 - (2) 財産の管理は適正であったか。
 - (3) 業務の執行体制に問題はなかったか。
- などを重点的に審査されております。

歳出

議会費 2億8,635万6,464円

総務費 159億8,673万3,992円

民生費 221億4,538万5,031円

衛生費 27億86万4,659円

労働費 5,623万7,225円

農林水産業費 41億1,551万5,232円

商工費 16億2,166万5,871円

土木費 23億1,884万9,137円

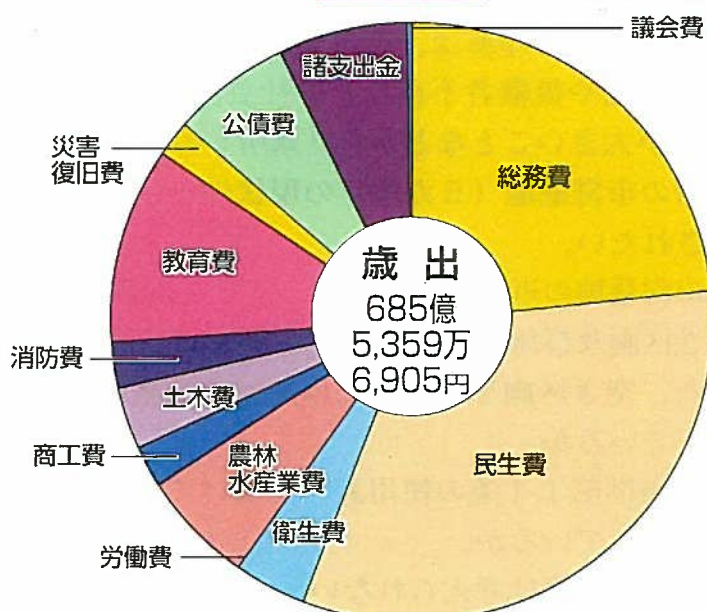
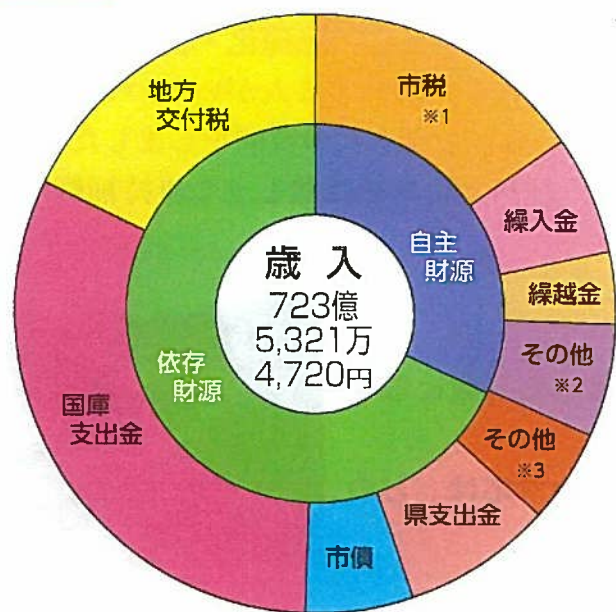
消防費 15億2,910万2,381円

教育費 72億1,414万5,066円

災害復旧費 13億9,230万6,955円

公債費 44億1,020万7,937円

諸支出金 47億7,622万6,955円



ホットニュース



公職選挙法にて、年賀状の挨拶が禁止されていますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

